

大学図書館が担う 教育のための インストラクショナル デザイン

1) インストラクショナルデザインとは

早稲田大学教授 向後 千春 氏

2) 大学図書館でインストラクショナルデザインが必要とされる背景

青山学院大学教授 野末 俊比古 氏

3) 大学図書館でのインストラクショナルデザイン活用事例

九州大学附属図書館 兵藤 健志 氏
星子 奈美 氏

2022年6月10日(金) 13:30~17:00

オンライン・オンデマンド形式併用

録画映像公開期間

2022年6月17日(金)~7月31日(日)

※視聴用URLは別途、メールにてお知らせします



お申込みはこちら

<https://forms.office.com/r/am6490RVnm>

大学図書館が担う教育のための インストラクショナルデザイン

6月10日(金) 13:30~17:00 録画映像公開期間 6月17日(金)~7月31日(日) ※オンライン・オンデマンド形式併用

大学図書館の機能として「教育活動への直接の関与」*が明確に求められるようになって10年以上が経過しました。この間、教育のパラダイムシフトやコロナ禍を経て、新たな学びが模索されています。本講演を通して、大学図書館がインストラクショナルデザインを踏まえた教育を行うことの必要性や背景、事例を知っていただき、今後の様々な活動の参考としていただければ幸いです。

* 文部科学省「大学図書館の整備について（審議のまとめ）-変革する大学にあって求められる大学図書館像-」、2010年



1. 開会の辞 13:30

司会者 研究部担当理事校 立正大学図書館 佐々木 綾花

2. 挨拶 13:35

研究部担当理事校 立正大学図書館長 小浜 ふみ子

3. 講演 13:40 ※テーマは当日までの調整により若干変更になる可能性があります

1) インストラクショナルデザインとは (約45分)

早稲田大学教授 向後 千春 氏

早稲田大学人間科学学術院教授。博士（教育学）（東京学芸大学）。専門は教育工学、教育心理学、アドラー心理学。著書に『世界一わかりやすい教える技術』（2020）、『伝える文章を書く技術』（2019）、『上手な教え方の教科書』（2015）、『人生の迷いが消える アドラー心理学のススメ』（2016）、『アドラー“実践”講義』（2014）、『統計学がわかる』（2007）、『統計学がわかる【回帰分析・因子分析編】』（2008）、『身につく入門統計学』（以上、技術評論社、2016）、『教師のための教える技術』（明治図書出版、2014）など。

2) 大学図書館でインストラクショナルデザインが必要とされる背景 (約45分)

青山学院大学教授 野末 俊比古 氏

青山学院大学教育人間科学部教授、図書館長、アカデミックライティングセンター長、革新技術と社会共創研究所副所長。現在、日本教育情報学会理事、日本図書館協会図書館利用教育委員会委員長なども務める。専門分野は図書館情報学、教育情報学。著書に『情報の達人』（DVD+テキスト、全3巻、紀伊國屋書店、テキスト執筆・共同監修、2007）、『専門資料論』（新訂版、日本図書館協会、共編著、2010）、『新しい時代の図書館情報学』（新訂版、有斐閣、分担執筆、2016）など。

3) 大学図書館でのインストラクショナルデザイン活用事例 (約45分)

九州大学附属図書館 兵藤 健志 氏

2003年4月より九州大学附属図書館に勤務。相互利用、参考調査、情報リテラシー教育支援などに従事。インストラクショナルデザインをテーマとする研修など、図書館職員の学習支援スキル向上を目的とした研修を度々企画してきた。

九州大学附属図書館 星子 奈美 氏

2002年4月より九州大学附属図書館に勤務。機関リポジトリの運用や、キャンパス移転に伴う新中央図書館開館準備等の業務に携わる。2018年10月より、学習・研究支援係長として、図書館の情報リテラシー教育支援に係る講習会や、図書館TA(Cuter)の大学院生と協働した教育支援に従事している。

4. 質疑応答 16:25 (約30分)

